

I 実践

1 研究主題

差別や偏見をもたずに、互いのよさを認め合うことのできる児童の育成

(1) 主題設定の理由

本校では、校訓を「かしこく やさしく たくましく」とし、「夢をもち、感性豊かでたくましい大沼っ子の育成」を教育目標としている。

本校児童は、明るく素直で比較的善悪の判断力もあるが、社会全般の傾向に等しく人間関係づくりが苦手な児童が増えつつある。

そこで、児童一人一人が様々な人との関わりや体験活動を通して、互いの個性を理解し、自他を大切に思うことのできる児童を育成したいと考え、本主題を設定した。

(2) 研究の内容

- ア 人権意識を育む学習活動 イ 好ましい人間関係づくり
- ウ 人権尊重の視点に立った環境づくり エ 人権に関する啓発活動の工夫

2 実践内容

(1) 人権意識を育む学習活動

ア 第4学年『助産師が伝える「いのちの教育」』の実践

親子学習会において、助産師を講師に迎え、児童と保護者が一緒に命の大切さについて学習した。

～第1部～ (児童及び保護者)

- ・助産師さんの話「命の大切さについて」 ・妊婦疑似体験
- ・二次性徴について ・体と心の変化 心臓の鼓動を聞く
- ・赤ちゃん人形抱っこ体験 ・親からの話「あなたが生まれたとき」



【児童の感想】

- ・お母さんが大変な思いをしながら産んでくれたこと、そして、今まで大切に育ててくれたことがわかった。これからも、命を大切にしていきたい。

～第2部～ (保護者のみ)

- ・助産師さんの講話「思春期の子どもの変化と親の対応方法について」

イ 道徳の時間における実践

月1回朝の時間を活用し「こころの時間」を設定している。「私たちの道徳」の読み物資料やコラムなどを活用し、道徳的心情が豊かになるようにしている。また、中・高学年では、総合的な学習の時間との関連を図り、障害者・高齢者・外国の人々や文化を理解しようとする内容を取り上げている。

・第6学年「太平洋のかけ橋に」 4－(8) 国際理解

ねらい 外国の人々や文化を尊重する心をもち、日本人として世界の人々と理解し合おうとする態度を養う。



【児童の感想】

- ・偏見を解こうとした新渡戸さんはすごいと思います。お互いを尊重し合うことが大切だと思いました。
- ・同じ人間なので、差別はいけないと思いました。相手のことを理解したいと思います。

第1学年「ごろりんごろんごろろろ」

2－(2) 親切

幼い人や高齢者などに身近な人に温かい心で接し、親切にする。

ウ 総合的な学習の時間における実践

- ・「大沼まちはかせ」(第3学年)・・・地域の人々との交流
- ・「人にやさしく」(第4学年)・・・高齢者体験、弁天園訪問
- ・「絆～知り合い・ふれ合い・語り合い」(第6学年)・・・異文化理解

エ 特別活動における実践

- ・あいさつ運動（生活委員会）
- ・募金活動，ペットボトルキャップ回収（JRC 委員会）

(2) 好ましい人間関係づくり

ア 多様な交流活動

ふれあいタイム（異学年集団遊び），幼小交流遊びの会，高齢者（敬老会・昔遊び），居住地校交流
外国人（ワールドキャラバン・ALT），地域の人材

イ 生徒指導部との連携

- ・「ともだちアンケート」（毎月実施）
- ・グループエンカウンター・SST などの積極的な活用
- ・Q・U テストの実施と全職員による分析
- ・個別面談
- ・いじめ撲滅標語の募集

生徒指導部では，上記のような施策を立て，いじめ問題に取り組んだり，共感的な人間関係を形成したりしてきた。アンケートでは，学校生活に対する満足度が1学期に比べて向上している。

ウ 集団登下校の実施

(3) 人権尊重の視点に立った環境づくり

「人権コーナー」を設置し，人権メッセージやいじめ撲滅標語などを随時掲示している。また，道徳の時間の様子や学習後の感想を「道徳の森」コーナーに掲示し，自他の考えや思いを交流する場になっている。

(4) 人権に関する啓発活動

ア 人権週間における取り組み

12月10日の「世界人権デー」にちなみ，12月5日から一週間，給食の時間に人権に関わる内容の放送を行った。「人権とは何か」について話したり，友達を題材にした曲を流したりした。また，全校朝会において，学校長が人権についての講話を行い，人権についての理解を深めた。

イ 校内研修会の実施

夏季休業中に職員研修会を実施し，DVD「えっ！これも人権？！」を視聴した。身近な生活の中での何気ない言動が人権侵害にあたることを改めて認識することができた。また生徒指導部では，アドラー心理学による人間関係づくりについて研修する機会をもった。



SGE:「一步前へ」



全校朝会での校長講話



校内人権教育研修会

3 成果

全教育活動を通して人権教育を進めていくことで，自分を大切にすると同時に，相手の立場や考えを尊重しようとする態度が育ってきている。

II 今後の課題

思いやりや福祉，いじめ問題を取り上げて人権教育としがちである。しかし，多様な人権課題の解消を目指し，確かな人権感覚を養うためには，年間計画を見直し，系統的・計画的に人権教育を進めていく必要がある。

III 人権コーナーの設置の様子

